



彩の国いきがい大学・県連協

彩の国いきがい大学学長 (埼玉県知事 上田清司) あいさつ

県連協会報第40号の発行おめでとうございます。貴協議会会員の皆様には、日ごろ地域活動を通じて埼玉県の活力づくりに多大なる御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、現在も被災地の復旧、復興に向けての取組が続いています。津波の被害に加えて原子力発電所の事故に伴う様々な問題も生じており、国・地方を挙げての強い支援が必要な状況であります。

県では、発災後いち早く福島県双葉町の皆様を加須市の旧騎西高校に役場機能も含めて受入れたり、被災地に職員を継続的に派遣するなど、最大限の支援を行っています。

また、今回の大震災では、全国各地から被災地にボランティアとして、多くの方が駆けつけております。県連協におかれましても被災地に向けての募金活動を行ったと伺っております。このような奉仕の心や公德心、いわゆる日本人の共に生きるという姿勢が強く示され、改めて日本人のモラルの高さが海外からも賞賛されました。

私は、高齢化が進む社会にあっては、家庭や仲間、地域が共に助け合う「共助」の精神が重要であると考えています。

日本の生産年齢人口は平成7年に約8,700万人でピークを迎えてから減少に転じ、平成22年には600万人減って約8,100万人となりました。生産年齢人口の減少は内需の縮小をもたらし、経済停滞の一因となっています。一方で、75歳以上の人口は約700万人から1,400万人と2倍に増加しており、社会保障費の増大は避けられません。

このように社会・経済情勢が大きく変化する中であって、豊かな長寿社会を実現するためには相互に協力し合う地域社会づくりが不可欠です。

そこで県では、地域の絆を再生し、高齢者を見守り支え合う、埼玉県独自の体制づくりに取り組んでいます。

会員の皆様におかれましても、様々なボランティア活動を通じて地域社会に貢献されるとともに、地域社会の担い手として、更には高齢社会における活動の道標となられることを御期待申し上げます。

結びに、彩の国いきがい大学校友会連絡協議会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を心より祈念申し上げます、あいさつといたします。



地域社会に根付いた活動の充実

彩の国いきがい大学校友会連絡協議会 会長 高橋 勉

春日部連協から県連協会長候補に推薦され、5月の総会においてご承認頂きました高橋 勉です。

3月11日14時46分 私達の記憶から生涯消え去ることのない大震災が発生しました。前会長小瀬様はじめ執行部のいち早い判断で、県連協として被災地への義援金の取り纏めを提案し、各連協挙げての協力を頂き、全体で約380万円の金額を被災地へ贈ることが出来ました。私は、この度の震災で大きな被害を受けました石巻市出身で、妹とその夫を失いましたが、会員皆様の温かいご支援に紙面をお借りしまして、感謝とお礼の言葉を述べさせていただきます。



本年23年度から春日部市に新しく二年制の学園が誕生し、学園数は10校、生徒数は1,500人を数えるに至っております。一方、校友会の方に目を向けますと、平成20年度の9,017名が、本年度9学園で8,246名と減少しておりますが、各連協におかれましては、地域に根付いた各種活動を積極的に行なっておられます。

“地域における仲間作り” “地域における社会活動の促進” “地域社会に貢献できる高齢者の育成” この3つの柱を学園時代から引き継いで、私達のいきがい大学校友会は日々前進を続けております。9つある連協それぞれが地域に密着した活動をする事が、いま私達の校友会に望まれているのではないかと信じております。

昨年から取り組みました“県の放課後いきいき応援隊”への協力、本年度6、7月に県内7カ所で開かれました研修会に、各校友会からも多数有志の方のご参加を頂いており、各地での今後の応援活動が期待されております。

「目立たなくてもよい」「褒められなくともよい」仲間を信じ仲間とのふれ合いの中で、地域社会とふれ合う！それが自分たちの糧となり明日にツナガル！

各連協の更なる発展と、会員皆様のご健勝をお祈りし、挨拶といたします。

◇平成23年度 彩の国いきがい大学校友会連絡協議会 役員一覧表◇

役職名	所 属	氏 名	役職名	所 属	氏 名
会 長	春日部学園 11期	高橋 勉	理 事	蕨 学園 20期会長	◎青木 孝一
副会長	春日部学園 13期会長	◎奥川 勝也		蕨 学園 21期会長	中村 和雄
	入間 学園 2期会長	◎伊藤 弘一		東松山学園 24期会長	◎藤武 喬春
	伊奈 学園 16期会長	◎櫻井 起雄		東松山学園 25期会長	岩城 由光
	川越 学園 29期会長	◎小川 鉦市		伊奈 学園 17期会長	鳥本 光昭
理 事	浦和 学園 32期会長	◎田口 弘三		春日部学園 14期会長	藤井 智雄
	浦和 学園 33期会長	倉兼 敏昭		入間 学園 3期会長	藤澤 翼也
	熊谷 学園 30期会長	◎中島 武久	*◎は各学園連協会長		
	熊谷 学園 32期会長	山田 忠勝	会 計	東松山学園 23期会長	東 靖夫
	川越 学園 30期会長	鶴田 重信		伊奈 学園 18期会長	関根 廣
	鷺宮 学園 30期会長	◎里 拓郎	監 事	鷺宮 学園 32期	鈴木 徳
	鷺宮 学園 31期会長	古川 栄溢		蕨 学園 20期	若林 幸正

平成23年度 県連協年間行事予定

月	日	曜	県 連 協		(財)いきいき埼玉
			事 業	会 議	
4	28	木		22年度 第4回理事会	
5	20	金		総会	
				広報引継ぎ	
				社交ダンス引継ぎ	
6	3	金		グラウンドゴルフ引継ぎ	
	17	金		第1回理事会	
	24	金			
7	1	金	いきがい大学第1回公開学習(共催)		いきがい大学第1回公開学習
	15	金		社交ダンス事業部会	
	29	金		グラウンドゴルフ事業部会	
9	1	木	会報40号発行		
	9-12				高齢者創作展
10	7	金	社交ダンスの集い		
	19	水	グラウンドゴルフ交歓大会		
	27	木		臨時理事会	
11	6	日	彩の国いきいきフェスティバル(協力)		彩の国いきいきフェスティバル
12	2	金			いきがい大学第2回公開学習
				第2回理事会	
2・3				第3回理事会	
				第4回理事会	

学園別行事予定表 1

学園	事業名	日時	会場	事業内容
浦和	学習会・研修会	10月6日(木)	さいたま市コミュニティセンター 多目的ホール	330人 検討中
	文化祭	24年 2月9日(木) ～11日(土)	埼玉会館 第2展示室	250人 展示300点・発表20人 書、写真、絵画、その他文芸作品等
	街頭募金活動	10月1日(土)	浦和駅(東口・西口)	30人 会員による赤い羽根街頭募金活動
熊谷	学習会	8月11日(木)	熊谷市文化センター	約500人 検討中
	芸能祭	24年 2月25日(土)	熊谷市文化センター	ダンス等の発表 65～70組
	文化祭	11月11日(金) ～11月14日(月)	熊谷市立緑化センター	来場者 約500人 展示200点 絵画、写真、書、絵手紙等の展示
	交流親善ターゲットバードゴルフ大会	6月16日(木)	岩槻コース	連協40人、他団体30人 川越・春日部・大宮・熊谷各連協合同交流親善大会
	花壇管理(ボランティア活動)	月2回	熊谷スポーツ文化公園	1回60人程度 公園内の花壇管理
	グラウンドゴルフ大会	9月7日(水) 24年3月7日(水)	熊谷市荒川緑地公園	100人 県大会予選会 100人 春季大会
	ダンスパーティ	6月17日(金) 10月21日(金)	熊谷市勤労会館	250人 250人
	自衛隊見学(籠原)	9月下旬	航空自衛隊熊谷基地	120人 見学・学習
	埼玉県農林公園「夏まつり」参加	7月下旬	埼玉県農林公園(深谷市)	50人 子供向けの昔遊びなどの実演他
川越	文化祭	11月16日(水) ～11月20日(日)	川越市立中央図書館	450人、展示250点 絵画・書・写真・手工芸等
	グラウンドゴルフ大会	9月8日(木)	川越市安比奈親水公園	80人 期を超えた交流会、県大会予選会を兼ねる
	新春日帰りバス旅行	24年 1月18日(水)		200人 初詣と観光
	社交ダンス交流大会	3月		70人 期を超えた交流会
鷺宮	学習会	6月2日(木) 24年2月	久喜市鷺宮西コミュニティセンター	338人 武蔵野大学教授 阿部和徳 脳を学び脳の衰えを防ぐ 未定
	文化祭	11月11日(金)	久喜市鷺宮西コミュニティセンター	400人 展示200点 演芸20演目
	社交ダンス	6月29日(水) 30日(木)	塩原温泉 塩原ホテル おおるり	36人 親睦ダンス旅行
	グラウンドゴルフ大会	7月8日(金)	久喜市鷺宮自由広場	200人 第11回グラウンドゴルフ大会
	ウォーキング	10月21日(金)	久喜市コスモスふれあいロード	130人 鷺宮地区葛西用水両岸と鷺宮神社、郷土資料館

※平成23年5月現在

学園別行事予定表 2

学園	事業名	日時	会場	事業内容
蕨	演芸大会	11月11日(金)	蕨市民会館 大ホール	入場者650人(延出演者450人) 連協登録各期会員より、団体又は共同及びクラブで出演。歌、踊り、ウクレレ等楽器演奏、演劇など
	ウクレレ演奏	要請により実施	埼玉県内老人福祉センター内(蕨・大宮他)	10～30人(自由参加) ウクレレ演奏及び健康体操等、12期～21期の会員参加
	社交ダンス発表	要請により実施	老人福祉センター他	30～40人 センター等でダンスを披露
	その他の社会貢献活動		蕨市内	年末助け合い募金活動 東日本大震災の義援金寄贈
	グラウンドゴルフ大会	9月16日(金) 3月18日(金)	戸田市彩湖・道満Gパーク	80人(各回) 連協恒例行事として毎年2回実施 その他、練習大会月2回、合宿年1回実施
	ウォーキング大会	4月1日(金) 10月14日(金)	自粛中止 未定	4月は221人参加希望があったが自粛 10月は180人予定。場所はその都度設定
	フォークダンス講習会	6月17日(金) 2月18日(金)	川口市立中央ふれあい館	110人(各回) フォークダンス連協会長指導のもとに毎年2回開催
	ウクレレクラブ合宿行事	8月中旬 (1泊2日)	長野予定	70人 クラブ会員による親睦を兼ねた練習合宿を毎年実施
東松山	新春の集い	24年 1月13日(金)	嵐山町国立女性教育会館	500人 政治経済評論家 板垣英憲(仮) マスコミにも出ない政治・経済の裏話
	文化祭	9月29日(木) ～10月3日(月)	東松山市立図書館	展示190点 会員の作品展示と一般公開
	地域ジュニア交流会	7月21日(木) 22日(金) 25日(月)	東松山市立青島小学校	連協25人、他団体80人 小学校児童と父母との交流 パソコン操作、各種手品、牛乳パックの利用方法等を指導しながら交流を図る。
	きみちゃん田んぼの会	4月～12月 毎月平均4回	嵐山町	45人 休耕田の活性化と環境の整備 耕作から収穫祭まで
	さくら会 (ロードサポート)	年に8回	東松山学園	50人 学園周辺の道路清掃
	ホームカミングウォーキング大会	5月22日(日)	学園～岩室観音～吉見百穴～桜堤方面	150人 健康増進と会員相互の親睦
	グラウンドゴルフ大会	9月6日(火)	嵐山町 B&G嵐山海洋センター	100人 期別対抗戦と県大会予選会
	芸能祭	24年 2月6日(月)	東松山市市民活動センター	400人 会員の芸能披露と校友会活動の一般公開
伊奈	研修会	11月18日(金)	県民活動総合センター	380人
	グラウンドゴルフ	9月9日(金)	県民活動総合センター グラウンド	90人
	親睦ダンスパーティ	11月7日(月)	さいたま市西部文化センター	85人
	ボランティア活動発表会	10月21日(金)	県民活動総合センター	200人 伊奈OBによるクラブ活動、ボランティアなどの事例発表
春日部	公開講座	6月21日(火)	春日部市中央公民館	400人 第1部 第33代木村庄之助 土俵の美(仮題) 第2部 埼玉県警察音楽隊 演奏
	文化祭	10月20日(木) 21日(金)	春日部市中央公民館	約700人 展示部門140点、演芸部門25件
	県立大学「清透祭」	10月下旬	県立大学	連協30人 昔の遊び伝承体験・実演
	社会福祉施設に対するボランティア	7月下旬	さいたま市岩槻区 社会福祉法人「松鶴園」	10人 納涼夏祭りに参加。遊び、催し物の手伝い
	その他の社会貢献活動		公開講座 文化祭	「公開講座」「文化祭」での募金活動(古切手、ハガキ等を含む) 寄贈先:春日部市社会福祉協会、養護盲老人ホーム「ひとみ園」
	第26回グラウンドゴルフ大会	6月7日(火)	春日部市谷原中西側グラウンドA、B	140人 グラウンド(32ホール) ストロークプレー
	第27回グラウンドゴルフ大会	10月4日(火)	春日部市谷原中西側グラウンドA、B	140人 グラウンド(32ホール) ストロークプレー
入間	学習会・研修会	2月中旬		未定
	文化祭	11月中旬		150人、展示100点、演芸15演目

東松山学園周辺の紹介

「緑に萌える学び舎に 生氣にあふれ 集い来て・・・」で始まる東松山学園校歌。歌詞にあるように、東松山学園は、豊かな緑に囲まれた武蔵野の面影を残す比企台地の一角にあります。

東松山学園の創立は1985年（昭和60年）4月に遡り、県内最初の専用校舎を持つ二年制の学園として開校して20数年を経て、卒業生は2700名に上っています。



緑に囲まれた東松山学園

現在の定員は、二年制課程200名と専科（一年制課程）90名で、各々、水、木、金曜日の通学日には、学業に、自治会活動に、そしてクラブ活動に勤しんでいます。

東松山学園は、東武東上線の東松山駅西口から西へ約2km、徒歩25分のところに位置しています。1954年（昭和29年）に市制施行した東松山市は、人口9万人、面積65.33km²で、

埼玉県のちょうど真ん中にあります。そして学園は市のほぼ中央です。まさに東松山学園は、埼玉県の「ヘソ」に当たること

になります。

東松山市の歴史は古く、縄文時代から人々が住み、五領遺跡を始め数々の遺跡が発見・発掘されており、日本の古代史研究に寄与しています。また、市の東端の吉見町との境にある吉見百穴も古墳時代の集団墓地として知られています。鎌倉時代には、比企氏など武蔵武者が活躍した舞台となり、戦国時代は、松山城の城下町として栄えました。

市内の見所としては、まず箭弓稲荷神社があげられます。712年（和銅5年）に創建され、武蔵の国で最古の稲荷神社と云われています。正月の参詣者数は25万人。

また、市内高坂地区には、坂東三十三観音の十番札所の名刹、718年（養老2年）に創建の正法寺（岩殿観音）があり、多くの参拝者が訪れます。正法寺のすぐ近くには、戦争の悲惨さを伝える埼玉県平和資料館があり、唐子地区の「原爆の図」で有名な丸木美術館とともに、平和の尊さを考えさせる施設として見学者が絶えません。

親子が楽しく遊べる「こども動物自然公園」では、コアラ、ペンギン、カンガルー、カピバラなどが、広大な園内で飼育されており、人気を呼んでいます。「市の花は牡丹」、市内には関東でも有数の規模を誇る「東松山ぼたん園」「箭弓稲荷神社ぼたん園」の2園があり、ゴールデンウィークには、近県からの観光客で賑わいます。

東松山市の年中行事は多く、各地区の獅子舞、箭弓稲荷神社の節分祭、初午祭、馬頭観音の絵馬祭、ぼたん祭などがあり、なかでも大きなイベントの一つとして挙げられるのが、40年続いている11月上旬の「日本スリーデーマーチ」です。国内外から8万人を超える老若男女のウォーカーが集まり、比企の自然を謳歌します。「ウォーキングのまち東松山」を標榜する由縁です。

東松山名物の「やきとり」は、炭火でじっくりと焼き上げた豚のカシラ肉を、辛いみそだれを付けて食べる庶民の味として、大人から子供まで大人気です。市内には、100軒以上の専門店が味を競っています。

「日本スリーデーマーチ」に参加して、歩いた後、「やきとり」を賞味しては如何でしょうか。



箭弓稲荷神社 本殿

財団法人いきいき埼玉からのお知らせ

1. 情報誌「あぷろく」を定期購読しませんか？

60才からの“いきいき生活”を応援誌として年4回（6月、9月、12月、3月各20日）発行しております。「彩の国いきがい大学」の講座通信など学園の様子をはじめ、地域で活躍する高齢者や役立つ情報が満載です。

是非ご購入ください。

年間購読料 1,500円（送料・税込）

申込み・問合せ

高齢者いきがい支援担当（土・日除く 9:00～17:00）

電話 048-728-7951



2. 第2回世代間交流事業「ニュースポーツ体験」を開催します！

ニュースポーツ（スポーツ吹矢、輪投げ、ブレイクタワー、ラダーゲッターなど）を体験できます。はじめての方でも指導員の方が親切に教えてくださるので、それぞれのスポーツの面白さをすぐに実感できます。世代間の交流を深め、楽しい一日をお過ごしください。

日 時 平成23年9月25日（日）

会 場 埼玉県県民活動総合センター モール内

内 容 スポーツ吹矢、輪投げ、ブレイクタワー、ラダーゲッター

料 金 無料

申込み 当日先着順

問合せ 高齢者いきがい支援担当（土・日除く 9:00～17:00）

電 話 048-728-7951

3. 県内で一流のジャズライブ鑑賞を！「ジャズライブ2011」



埼玉県県民活動総合センターの小ホールで、毎月1回、土曜の夜にジャズライブを開催しています。ここでは一流の演奏を間近に鑑賞することができます。ライブハウスの雰囲気をお楽しみいただくために、休憩時間にワイン又はコーヒーの1ドリンクサービスも行っています。

日 時 月1回 土曜日 18:30開演（18:00開場）

■9月10日（土）山下洋輔ピアノソロ

■10月8日（土）渡辺香津美ギタールネッサンス

入場料 3,000円 1ドリンク付

申込み 学習支援担当

電 話 048-728-7113

※11月～2月はホール改修工事のため休演となり、
次回は3月を予定しています。



平成23年度予算の概要

●収入額	1, 589, 966円
会費	828, 600円
雑収入	159円
繰越金	761, 207円
●支出額	1, 589, 966円
事業費	420, 000円
事業協力費	155, 000円
助成費	590, 000円
事務局費	90, 000円
傷害保険料	18, 000円
予備費	316, 966円

平成22年度決算の概要

●収入額	1, 254, 480円
会費	813, 700円
雑収入	4, 766円
繰越金	436, 014円
●支出額	493, 273円
体育費	121, 299円
会報発行費	181, 315円
事業協力費	92, 415円
事務局費	86, 050円
傷害保険料	12, 194円
●次期繰越金	761, 207円

平成23年度
県連協学園別登録会員数

	会 員 数
浦 和	818
熊 谷	1, 203
川 越	741
鷲 宮	1, 162
蕨	1, 046
春日部	905
入 間	168
東松山	933
伊 奈	1, 270
計	8, 246

編集後記

伝統ある「県連協会報」第40号の編集・発行を東松山学園連協が担当いたしました。

会報誌の内容につきましては、第39号でリニューアルされて、会報誌としてのすばらしい機能・体裁が整っておりますので、この機能を維持しながら、フォームも変えることなく、担当学園の特色を添えて発行いたしました。

会報を通して、校友会会員皆様方の心の絆、信頼の絆、友情の絆をより深く、強くしていくことが出来れば幸いに存じます。

発行に際し、上田学長(知事)、高橋会長、各学園連協会長、財団事務局各位の多大なるご協力をいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

東松山学園校友会連絡協議会
24期広報委員会一同

発行所：埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26

彩の国いきがい大学校友会事務局 TEL 048-728-7951

発行責任者：彩の国いきがい大学校友会連絡協議会 会長 高橋 勉

編集・印刷：彩の国いきがい大学東松山学園校友会連絡協議会 24期広報委員会